

取材ご案内

報道機関 各位

立命館アジア太平洋大学

2016年12月2日

APU リリース 2016-73

コソボ、レソト、バヌアツ等から行政官など6名を受け入れ APUと地域一体で行う国際協力事業

立命館アジア太平洋大学(以下APU)は、独立行政法人国際協力機構(JICA)の委託を受け、今回インドネシア、レソト、南アフリカ、コソボ、バヌアツ、タジキスタンから行政官等6名を受け入れます。11月25日に配信のAPUリリース2016-71「12月の行事予定」では7名と連絡していましたが、6名に変更となっております。

今回は、前半を福岡県北九州市のJICA九州国際センターと岡山県総社市で行い、後半は別府市で行います。

<スケジュール>

【研修名】平成28年度 地方開発のためのコミュニティ・ベースド・アントレプレナーシップ(C)

【期間】2016年12月5日(月) - 12月16日(金)

【参加者】インドネシア、レソト、南アフリカ、コソボ、バヌアツ、タジキスタンの行政官等計6名

【言語】日本語(英語への通訳あり)

【講師】三好皓一(アジア太平洋学部教授)

岡部有美子(Institute for Community Design 事務局長)

【場所】福岡県北九州市、岡山県総社市、大分県別府市

【主な研修内容】

- 1) 宝福寺で座禅体験《岡山県総社市》
- 2) JAべっぷ日出出会い市場旬の館視察及び講義《大分県別府市》
- 3) 研修内容をグループにて討議・発表《APU》

※全日程での取材が可能です。事前にAPU広報(0977-78-1114)までご連絡ください。

<JICA 研修員受入事業>

APUでは、独立行政法人・国際協力機構(JICA)から委託を受け2006年から開始。アフリカ、アジア、南米の町長や行政官を対象に、毎年100名前後の研修生を受け入れています。研修では都市と地方の開発格差、開発途上国の貧困削減に焦点を当て、行政、民間、地域住民が一体となって地域の力を高められるよう、その推進役となるリーダーの育成を目指しています。

研修期間中は、県内の現場を訪問しケーススタディー、オンパク体験など多彩なプログラムを行います。その後、研修で学んだ実践モデルを自国でどう活かすか討議を行いながら、独自のプランを考えていきます。

【本発表資料のお問い合わせ先】 学長室(広報)担当:加藤・宮腰

Tel:0977-78-1114 携帯:090-5473-3803 住所:〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1

ウェブサイト: <http://www.apu.ac.jp/home/>

フェイスブック: <https://www.facebook.com/RitsumeikanAsiaPacificUniversity/>